【お問合せ】TEL：090-2351-7280（石井）
MAIL：reo@nakanishireo.com（中西）

8/1（木）
18時～20時

申込不要

明石市議会 40代議員
熟議甲子園

明石のまちづくりについて徹底議論！

あかし市民広場 にて
（パピオスあかし２F）

入場無料

ENTRY

たかお 秀彰
1期・明石維新の会・42歳

中川 なつみ
1期・市民の会・41歳

石井 ひろのり
2期・自由民主党明石・43歳

林 まろみ
2期・明石かがやきネット・48歳

中西 レオ
4期・対話の会あかし・44歳

司会・進行

山下しょう
1期・市民の会・31歳

明石市議会 40代議員 熟議甲子園

明石のまちづくりについて徹底議論！

議会って議員同士が丁々発止の議論を繰り広げ・・・と思っていたら、議員同士の議論は皆無。これはもう、私たちが実現するしかない！
会派を越えて、40代議員がケンカでも批判でもなく、建設的な”熟議”にチャレンジ。

【熟議テーマ】
①未来を担う明石のこどものために必要な**「新しい教科」**を作るとしたら？
②**選挙カー**、いる？いらない？

たかお秀彰

①『健全育成（身体機能向上）』
近年、こどもの体力･運動能力低下が問題として取り上げられることが増えている。こどもの体力･運動能力低下による影響は大きく肥満やケガが増えるだけでなく将来的な生活習慣病リスクの増加、ひいては医療費負担の増加にまで及んでいる。5～15歳の成長期に体を動かす習慣ができれば将来的な生活習慣病リスクや医療費負担の増加を抑えることに繋がる。
②『選挙カーはいる』
必要だと思うが、活動のやり方は見直す必要がある。

中川なつみ

①『しくじり先生（失敗学）』
人生は失敗の連続であり、何度失敗してもやり直せる。人生の先輩達の失敗と巻き返しの経験から、諦めない心を学んでほしい。教科書の1ページ目は、泉房穂前明石市長。
②『選挙カーはいる』
明石出身でなく、明石に家族も友達もいない。組織票はもちろんない。そんな新人候補者の頼みの綱はチラシのみである。知ってもらい、興味をもってもらい、初めて読んでもらえる。認知の足掛かりに選挙カーは必要である。

石井ひろのり

①『魚捌』
明石のこどもは中学卒業までに魚介の調理方法を習得する。家庭科の授業で一回学ぶ程度ではなく、通年で目利き、捌き、刺身、焼き物、煮物、揚げ物など複数の魚種で見極めから調理方法まで身につける。
②『選挙カーはいる』
選挙カーの認知拡大能力は高い。仮に禁止したら恐らく辻立ちが乱立する。結局、イラっとするのは車ではなくスピーカーと連呼行為。

林　まろみ

①『アート教育』
偉大な芸術家たちは常に時代の先端を行き、新たな価値観を創出してきました。既存の概念や常識に挑戦し、自らの感性を磨くことで、新しいアイデアや視点を発見する力が養われます。これからの時代を生き抜くためには必要な力。
②『選挙カーはいらない』
現行のルールでは最大の宣伝ツールであることは確かですが、単純にうるさいよね、と思います。選挙のルールを有権者も知り、ともに考える必要があるのでは。

中西レオ

①『哲学科』
思考力、理性、自分の人生の指針などを育てることを目的とします。なぜ生きる?どう生きる?なぜ○○しちゃダメ?お金はどれだけ必要?といった答えのない問いに取り組むことで、考えを深め、自分を知り、心と頭を育てます。
②『選挙カーはいる』
名前の連呼やウグイス嬢は要らない。政治家が自分の声で、一瞬のチャンスであっても伝える力が問われています。うるさく叫ぶのは本当に要らない。